



乳がん検診 Q&A



Q.マンモグラフィーと超音波検査(エコー)の違いは？

A. マンモグラフィー検査では、医師の触診だけでは発見できないしこりを診断することができます。小さな、特に石灰化*のある乳がんの発見に適しています。このほか、乳房の良性疾患などが診断できます。検査の感度（がんのある人を正しく診断できる精度）は80%~90%です。乳腺細胞の多い若年層の方では、その正確度が落ちることもあります。

一方、超音波検査（エコー）は、医師の触診だけでは発見できない小さなしこりや、しこりの良性、悪性の診断に用いられています。また、放射線被ばくをうけないため、妊娠中でも受けられます。乳腺の発達した人や、若年者の検査に適しています。

※石灰化：がんなどで細胞が死滅すると、乳管内にカルシウムの成分が溜まり、X線で白く写ります。砂をまいたような白い点々がある場合は早期乳がんの疑いがあるので、さらに精密検査が必要です。ただし、石灰化があっても、すぐにがんにかかっている、というわけではありません。

Q.乳房に異常をがあると、すべて乳がんなの？



A. しこりや痛みがあってもすべて乳がんではありません。乳腺症や乳腺炎などの良性の病気によるものもあります。

しかし、医師の診断を受けずに自己流で判断することは大変危険です。少しでも違和感を感じた場合は、すぐに医療機関で検査を受けましょう。

Q.早期発見の利点は？

A. 早期発見できれば、それだけ5年生存率が上がります。さらに、早期であれば乳房を温存する治療法を選択肢に加えることができます。それだけに、乳がん検診をうけて、早期がんのうちに発見し治療することが重要になります。

臨床病期	I	II	III	IV
5年相対生存率	100.0%	95.7%	81.6%	35.2%

がんの統計 '16

Q.どんな検査？料金は？

A. 【問診】 家族歴、月経の状況、症状の有無などについて、お聞きします。

【マンモグラフィー】 乳房専用のX線装置で、乳房をプラスチック版に圧迫して挟み、撮影します。

*料金：40歳以上の方は自己負担1,000円。
上記以外の検査を行った場合は、別途料金がかかります。担当の医師とよく相談しましょう。

Q.痛くないですか？

A. 乳房を挟むので多少痛みを伴うことがあります。月経前には、ホルモンの関係で乳房が張って痛むことがあるので、心配な方は月経2~3日目以降に受けると安心です。

また乳房の大小に関係なく、安心して検査を受けられます。

